

[調査会 NEWS 664](20.7.19)

■今月の定例記者会見について

今月の定例記者会見はお休みさせていただき、その代わり7月24日木曜の夜、拉致担当記者の方々との懇談会を予定しています。参加ご希望の方（報道機関の方に限ります）は調査会事務所までご連絡いただければ幸いです。なお、緊急事態が起きたときは随時会見を行います。

■北朝鮮人権問題と拉致

荒木和博

先日ある方（日本人。とりあえずAさんとしておきます）から手紙のコピーをいただきました。

そのコピーはAさんの幼なじみのBさん（在日朝鮮人帰国者）からのものでした。Bさんは1960年代半ばに一家で帰国したのですが、帰国翌年にお父さんが自殺し、その後は相当厳しい人生が続いていたようです。書かれていることは日本時代のことが多く、小学校の先生へあこがれたこととか、思い出がつづられており、読んでいて何とも複雑な気持ちでした。

11日の集会に来ていただいた脱北帰国者、千葉優美子さんはいまの日本に朝鮮総聯のような組織がまだ存在していることが信じられないという（言葉がそのままだったかは忘れましたが）話をされていました。帰国者は自分から（親に連れられてであれ）北朝鮮に渡ったのですし、在日全体からすれば一部だったので、すから、拉致被害者と同じに考えるのは難しいのですが、同じ拉致被害者でも自ら北朝鮮に入って出られなくなった人には近い部分もあります。少なくとも朝鮮総聯が北朝鮮当局の意を受けて在日を扇動し、騙して送り込んだことは間違いありません。

「しおかぜ」の呼びかけは「北朝鮮に拉致された皆さん、様々な理由で北朝鮮に入って戻れなくなった皆さん」で始まります。言うまでもなく、そこには日本人妻を含む在日の帰国者の方々も、自由に日本との間を往来できるようにしたいという思いが込められています。

この間映画「クロッシング」の試写会を二度観ました。日本でもぜひ劇場上映してもらいたい映画です。印象に残る場面は沢山あったのですが、逃げようとする人間を警備員が飛びかかって銃床で力任せに殴るシーンは今まで聞かされてきた話を彷彿とさせるもので、

自分の骨まで響くような錯覚にとらわれました。主人公の少年のガールフレンドがコッチェビになり、やがて病に冒されて死んでいく様子はおそらく北朝鮮ではありふれた風景なのでしょうが、それが日常化していることには怒りを覚えざるをえません。

このような北朝鮮の様々な人権問題を考えたとき、その一つである拉致問題、特に日本人の拉致問題だけを切り離して解決することは不可能です。拉致被害者の中に収容所にいられている人がいるかもしれず、また帰国した脱北者からの聞き取りをもっとしっかりやれば拉致被害者の情報まではなくても、北朝鮮のどこにどういう施設があるかはかなり分かるはずですが、また、日本人拉致の問題だけなら「再調査」で数人出てきたとか何とかの取引でごまかすことも可能ですが、人権問題で押していけば北朝鮮当局は絶対に逃げられません。テクニク的な意味でも拉致被害者救出運動と拉致以外の北朝鮮人権問題の連携は必要不可欠です。北朝鮮の体制の自由化・民主化なくして拉致被害者全員の救出は絶対に実現しません。

主権侵害の問題はまた別ですが、ともかく世界の指導的地位にある日本の国民として、特に拉致被害者を救出しようという思いが強い人なら北朝鮮の人権問題を無視ないし軽視すべきではないでしょう。きれい事で行かないことは十分に分かりますし、個人にできることは限りがありますが、それでもなおかつ私たちは誇りにかけて、日本人として北朝鮮の人権問題に何らかの寄与をすべきだと思います。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★7月21日(月・祝日) 15:00～西日本緊急集会・デモ行進(同会実行委員会主催)

●大阪市・西区区民センター(地下鉄西長堀駅前)

●代表荒木・常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ:三宅理事(090-3713-0523)

★7月29日(火) 18:30～トークライブ&会場討論(青狼会主催)

●阿佐ヶ谷ロフトA(中央線阿佐ヶ谷駅2分)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ:佐藤さん(047-390-9690)

★8月2日(土) 13:30～特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

●阿南市・文化会館

●常務理事岡田・理事三宅が参加

★7月21日(月・祝日) 15:00～西日本緊急集会・デモ行進(同会実行委員会主催)

●大阪市・西区区民センター(地下鉄西長堀駅前)

●代表荒木・常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ:三宅理事(090-3713-0523)

★7月29日(火) 18:30～トークライブ&会場討論(青狼会主催)

●阿佐ヶ谷ロフトA(中央線阿佐ヶ谷駅2分)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ:佐藤さん(047-390-9690)

★8月2日(土) 13:30～特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

●阿南市・文化会館

●常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ:陶久会長(0884-26-0090)

★8月9日(土) 13:30～津和野町日原集会(東アジアネットワーク主催)

●津和野町・日原山村開発センター(津和野町日原22-1 Tel 0856-74-0302)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:長崎さん(090-7501-8960)

★8月17日(日) 13:30～公開大討論会(拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催)

●水戸市・水戸市民会館

●代表荒木が参加

●問い合わせ:029-224-7521(前にお知らせしたもので番号が違っていました。お詫びして訂正します)

★9月21日(日) 仙台集会(救う会宮城主催)

●仙台市

●代表荒木が参加

★10月11日(土) 奈良集会(救う会奈良主催)

●奈良市

●代表荒木が参加

★10月19日(日) 秋田集会(救う会秋田主催)

●秋田市

●代表荒木が参加

救う会石川(米光 正次)
救う会いばらき(松尾 秀雄)
救う会愛媛(中矢 民三郎)
救う会大分(伊藤田 雄三)
救う会神奈川(川添 友幸)
救う会金沢(川 裕一郎)
「救う会群馬」群馬ボランティアの会(大野 トシ江)
救う会高知(森田 和博)
救う会埼玉東部の会(古藤 勝次)
救う会千葉(中村 実)
救う会徳島(陶久 敏郎)
救う会長野(塚田 俊明)
救う会奈良(佐藤 一彦)
救う会兵庫(長瀬 猛)
救う会福岡(青木 英實)
救う会三重(森田 優)
救う会宮城(安藤 哲夫)
救う会宮崎(吉田 好克)
救う会山形(齋藤 純一)
CHOSON BAND RESEARCH(柘植 裕子)
つくば、しおかぜ会(新井 佐和子)
東京ブルーリボンの会(河村 裕子)
特定失踪者問題調査会(荒木 和博)
長崎拉致被害者救出ネットワーク(北村 芳正)
中村三奈子さんをさがす会(金井 英雄)
日本青少年(西山 俊一郎)
浜松ブルーリボンの会(石川 博之)
東アジアネットワーク(石原 倫理)
法律家の会(土田 庄一)
民社人権会議(田久保 忠衛)
山形ビジョンの会(工藤 清)
山本美保さんの家族を支援する会(清水 仁)
予備役ブルーリボンの会(颯佐 正俊)
拉致事案全般研究会(松田 紗織)
拉致問題解決を目指す会(甲斐 直樹)
ワシントン DC らち連絡会(浅野 泉)

■以下、増元さんからの呼びかけです。

6月11,12日の日朝公式協議終了後、日本政府は北朝鮮への制裁の一部解除を検討し始めました。

それを受け、米国は「日朝交渉の進展」とみなし、「テロ支援国指定解除」の手続きを開始しました。

私たちは、この流れを悲痛な思いで見ているしかないことに憤りを感じています。

私たちは、今出来ることをやり続けていくしかないと思います。

12日(土)、16:00~18:00 有楽町マリオン前において、街頭署名を行い、国民に対し訴えていきたいと思ひます。

認定被害者だけでなく、失踪者ご家族にも同じ思いの方がいらっしゃると思ひます。私たちとともに行動していただける方は、ご参集ください。

他に、「桜応援団」の方々も来ていただけます。区議の方にも応援をお願いしております。 よろしくお願ひいたします。

平成20年7月11日

増元るみ子の実弟 増元 照明

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★7月21日(月・祝日) 15:00~西日本緊急集会・デモ行進(同会実行委員会主催)

●大阪市・西区区民センター(地下鉄西長堀駅前)

●代表荒木・常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ:三宅理事(090-3713-0523)

★7月29日(火) ライブトーク

●阿佐ヶ谷ロフト

●常務理事杉野が参加

★8月2日(土) 13:30~ 特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

「根拠がない」と反論されたときには確か「数字の問題ではない」と言い返したように記憶しています。要はどうでもいいのです。

向こうの波長に合わせるとこっちまで品が悪くなりますが、少なくとも相手がそういう連中だということは理解しておいた方がよいと思います。その意味では交渉も外務省に頼むより日本詐欺師協会（というのがあるのかどうか知りませんが）にでも出来高払いで下請けしてやってもらった方が効果があがるかも知れません。

詐欺師に信頼されるより、詐欺師をやっつけた方がよほど「日本人の誇り」を守ることにつながはずです。

ただし、その詐欺師相手にまた変な約束をして北朝鮮船舶（万景峰がだめなら一般貨物船でも）の入港を認めようという動きが政府部内にあるようです。これから表に出てくるかも知れません。今のところ誰が動いているのか、真相は「藪の中」ですが、その動きが明らかになってくれば日本の世論はさらに高まることは理解しておいてほしいと思います。

■本日、調査会主催集会「国交正常化より北朝鮮と日本の正常化を！」

生中継は(株)NetLiveのホームページから見ることができます。

日程：7月11日（金）18:30～20:30

会場：UIゼンセン同盟会議室UIゼンセン会館2階会議室
（東京都千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549）

※JR総武線、地下鉄有楽町線・南北線・都営新宿線市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向
い

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

登壇予定者（敬称略）：

青木直人（ジャーナリスト・基調講演「なぜそんなに国交正常化がしたいのか—国民の知らない利権構造の実態—」）

（以下50音順）

加藤博（北朝鮮難民救援基金事務局長）

千葉優美子（朝鮮総連を提訴した脱北帰国者）

土田庄一（法律家の会事務局長）

増元照明（家族会事務局長）

三浦小太郎（北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会代表）

他

コーディネーター：荒木和博（調査会代表）

参加費：500円（戦略情報研究所主催講演会ではありませんので、戦略情報研究所の会員の方も会費が必要です）

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★7月21日（月・祝日） 15:00? 西日本緊急集会・デモ行進（同会実行委員会主催）

●大阪市・西区区民センター（地下鉄西長堀駅前）

●代表荒木・常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ：三宅理事（090-3713-0523）

★8月2日（土） 13:30? 特定失踪者問題啓発集会（救う会徳島主催）

●阿南市・文化会館

●常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ：陶久会長（0884?26?0090）

★8月9日（土） 津和野集会（東アジアネットワーク主催）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：石原代表（090-9417-8363）

★8月17日（日） 13:30?公開大討論会（拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催）

●水戸市・水戸市民会館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：029?224?7521（前にお知らせしたもので番号が違っていました。お詫びして訂正します）

★9月21日（日）仙台集会（救う会宮城主催）

●仙台市

●代表荒木が参加

★10月11日（土）奈良集会（救う会奈良主催）

●奈良市

●代表荒木が参加

余っているが日本が謝罪の印で持ってくるなら受け取ってやる。家畜の餌に使えないこともないから」とかうそぶいていたことを思い出します。このインタビューのタイトルは確か「犬は吠えても歴史は進む」でした。今はもうその金容淳もこの世にいませんが。

それにしても加藤紘一、山崎拓、金丸信と、親北朝鮮政治家がどれも元防衛庁長官、あるいは元自民党幹事長や副総裁というのはどういうことでしょうか。偶然というより、これがこの国の権力の意志なのだと思わざるをえません。だからこそ拉致は隠蔽されてきたのです。

特に当事者である自民党の方々には政権を続けたいならそれを求めたいですし、民主党の方々には政権を奪おうと思うならここにメスを入れてもらいたいと思います。そして両党がどうであろうと、国民の力でこの本質的なものを変えなければなりません。加藤センセイのような政治家が(元?)大物で、こういう発言を公然とすることを恥ずかしいと国民が思うことが必要でしょう。

■参考情報 人権抑圧、人命犠牲のオリンピック反対デモについて

以下先日戦略情報研究所講演会で講演して下さったイリハム・マハムティさんからの呼びかけです。

<フリーウイグル、フリーチベット、フリーモンゴル>

皆様、ご存知かどうか知りませんが、今年に入り中国内陸部で働くウイグル人64名が逮捕されました。そして、その内20名が死刑にされようとしています。これは、オリンピック開催前、中国共産党によるウイグル人に対する恫喝の一つです。

この事を、オリンピックを始めたクーベルダン男爵があのお世でお聞きになられたら、さぞかし嘆かれる事と存じます。

オリンピックの目的は人種、宗教、政治、性別等の理由に基づく国や個人に対する差別を取り除き、この世に平和な社会を推進することにあります。それにも拘らず、中国共産党政府は自国の威信を高めるために、罪も無き人々の尊い命を奪うという、卑劣且つ残忍極まりない手段を持ってまでして、オリンピックを強引に開催しようとしております。

このような血に汚れたオリンピックの開催を許せば、共産党政府の卑劣且つ残忍なやり方を、暗に認めたことになり、我々は、我々の先祖や子孫に顔向け出来ない事になります。

先人は「義を見てせざるは、勇なきなり」の言葉を残しており、我々は断固たる決意と

勇気を持って、今回のオリンピック開催に反対する次第であります。そしてそれが、この世に「今活かされている我々の務め」であると存じます。

予告になりますが、来る8月3日に我々はオリンピック開催反対のデモ行進を以下の場所にて行います。我々の運動に、ご理解とご協力いただけます方は、ぜひ我々と共に、デモ行進に参加なさってください。お待ちしております。（世界ウイグル会議副主席スィット・トムトルコ氏参加）

日時：場所：8月3日（日）芝公園23号地（地下鉄御成門から5分、神谷町から10分）・集会広場

1時から集会。

1時45分デモ出発。予定として愛宕下通りから外堀通り日比谷公園まで。

（約2.5キロ）日比谷公園にて流れ解散。

世界ウイグル会議傘下「日本ウイグル協会」主催代表 イリハム・マハムティ

任意団体・イリハム応援団 TEL 03-3815-7815 FAX 03-3815-7816

世界ウイグル会議のHP HYPERLINK "<http://www.uyghurcongress.org/>"

<http://www.uyghurcongress.org/>

東トルキスタンについて

東トルキスタンとは、現在は中国の「新疆ウイグル自治区」と名づけられている地域の名前です。ペルシャ語でテュルク（トルコ）の土地をトルキスタンと言 い、西トルキスタンが旧ソ連の中央アジア諸国にあたります。

ここは、シルクロードの舞台として、東西の文明の交わる地点であると同時に、独自の文化と歴史を持った地域として繁栄してきました。しかし 18 世紀に清朝 に征服され、19 世紀には「新しい領土」を意味する「新疆」という名の一つの省として支配されました。その後回族の軍閥やソ連軍、新疆政権などによる騒乱を経て、1933 年と 1944 年に東トルキスタン共和国として独立を果たします。しかし 1949 年に中 国共産党の陰謀により、国家の指導者らは暗殺され、中国に併合されるに至りました。

中国共産党の人民解放軍によって「解放」されるまで、中国とはまったく別の文化や言語、宗教、歴史を持った文化圏を形成してきました。

現在、新疆ウイグル「自治区」は、名ばかりの主席にウイグル人を置くことで少数民族による自治が行われているかのように見せかけています。しかし本当の権 力は共産党書記が握っており、このポストは常に漢人によって占められてきています。

また少数民族の同化を目的とした漢族との結婚が奨励され、人口抑制のために産児制限が行われており、さらに数年前からは若い未婚女性を数万人単位で強制的に内地へ移住させています。

少数民族の伝統的な文化は破壊され、彼らの信仰するイスラム教の宗教活動や、民族の歴史や文化に関する出版活動などが制限されています。学校教育からの ウイグル語の追放も徐々に進んできています。

そしてこれら同化政策の総仕上げとして、大量の漢族の移住が当局の主導の元、現在も進められています。

地球上からウイグル族という民族が消滅されようとしているのです。

東トルキスタンは石油、石炭などのエネルギー資源の豊富な地域ですが、その豊かな資源もほとんど全て中央へと吸い上げられ、現地の住民である東トルキス タンの人々にはなんら恩恵をもたらしていません。

また、住民が住んでいるすぐそばで核実験が何度も行われており、大量の放射能中毒者を出しています。

このような残酷な扱いに異議を唱える者は、「分離主義者」、「テロリスト」などとレッテルを貼られ、まともな手続きも経ずに監獄や強制労働所に送られています。

チベットと同じくらいに酷い弾圧を受けている東トルキスタンですが、現地を旅行する日本人の目には、それ程に酷いことが起きていると映らないことが多いようです。政府を批判したことが知られると逮捕されるから、ということもあります。しかし、それ以上に彼らウイグル人の民族的な気質が、虐げられる人々としての暗さを感じさせないということがあります。

素朴で実直、お客が大好き、歌と踊りが大好きな陽気な人々で、日中に酷いことが起きている、夜にみんなで集まって飲み食いおしゃべりをしたら忘れられる、というくらいに楽天的であるといえます。

だからこそ、過酷な弾圧下にあって、皆たくましく生き延びてこられたのだと思われま

す。

民族的な文化の代表としては、音楽と踊りが第一にあげられます。

西洋音楽とは異なる音楽理論にマカーム音楽というものがありますが、ウイグル人の伝統的なムカーム音楽もその一系統です。20数種類の楽器によるオーケストラであり、2005年には12ムカーム（カシュガル・ムカーム）とドラム・ムカームとが世界無形文化遺産に登録されました。

「ウイグルの男の子はしゃべりだす前に歌いだし、女の子は歩きだす前に踊りだす。」といわれるくらい、あらゆるところに歌と踊りがあります。音楽があれば自然と体が動くという人も多いようです。

■11日金曜、調査会主催集会「国交正常化より北朝鮮と日本の正常化を！」

生中継は(株)NetLiveのホームページから見ることができます。

日程：7月11日（金）18:30～20:30

会場：UIゼンセン同盟会議室UIゼンセン会館2階会議室
（東京都千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549）

※JR 総武線、地下鉄有楽町線・南北線・都営新宿線市ヶ谷駅下車 3 分 日本棋院斜向
い

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

登壇予定者（敬称略）：

青木直人（ジャーナリスト・基調講演「なぜそんなに国交正常化がしたいのか—国民の知らない利権構造の実態—」）

（以下 50 音順）

加藤博（北朝鮮難民救援基金事務局長）

千葉優美子（朝鮮総連を提訴した脱北帰国者）

土田庄一（法律家の会事務局長）

増元照明（家族会事務局長）

三浦小太郎（北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会代表）

他

コーディネーター：荒木和博（調査会代表）

参加費：500 円（戦略情報研究所主催講演会ではありませんので、戦略情報研究所の会員の方も会費が必要です）

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★7 月 21 日（月・祝日） 15:00～ 西日本緊急集会・デモ行進（同会実行委員会主催）

●大阪市・西区区民センター（地下鉄西長堀駅前）

●代表荒木・常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ：三宅理事（090-3713-0523）

★8 月 2 日（土） 13:30～ 特定失踪者問題啓発集会（救う会徳島主催）

●阿南市・文化会館

●常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ：陶久会長（0884-26-0090）

★8 月 9 日（土） 津和野集会（東アジアネットワーク主催）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：石原代表（090-9417-8363）

■11日の集會に千葉優美子さんも参加

今週金曜開催の調査会主催集會「国交正常化より北朝鮮と日本の正常化を！」に先月帰国運動に関し朝鮮総連を提訴した千葉優美子(韓国名・高政美)さんも参加されることになりました。今回は最初から最後までインターネットでの生中継を行います。遠方で参加できない方もぜひご覧下さい。お一人お一人の時間は短いですし、やる前から言うものなんでしょうが、あの独裁体制を倒し、日本国内でそれを擁護して利権を得ようとする勢力と戦わない限り問題が解決しないことだけは理解できる集會になると思います。

生中継は(株)NetLiveのホームページから見ることができます。

日程：7月11日(金) 18:30~20:30

会場：UIゼンセン同盟会議室UIゼンセン会館2階会議室
(東京都千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549)

※JR総武線、地下鉄有楽町線・南北線・都営新宿線市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向
い

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

登壇予定者(敬称略)：

青木直人(ジャーナリスト・基調講演「なぜそんなに国交正常化がしたいのか—国民の知らない利権構造の実態—」)

(以下50音順)

加藤博(北朝鮮難民救援基金事務局長)

千葉優美子(朝鮮総連を提訴した脱北帰国者)

土田庄一(法律家の会事務局長)

増元照明(家族会事務局長)

三浦小太郎(北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会代表)

他

コーディネーター：荒木和博(調査会代表)

参加費：500円(戦略情報研究所主催講演会ではありませんので、戦略情報研究所の会員の方も会費が必要です)

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する)

に尽力しておられることに敬意を表します。それ故に本件について米国民の皆様にも再考をお願いする次第です。

1、自由と民主主義に背く決定

いうまでもなく北朝鮮は世界でも最悪の人権状況の国家です。そこには言論の自由もなく、人口の1%を政治犯として収容所に閉じこめられており、この10年余りの間に少なくとも人口の10%以上が政策的餓死、ないし飢餓による病死に至っています。21世紀の今日、内戦も起きていない国で餓死者が出ているのは北朝鮮だけです。それ自体が大きな人権問題を抱えている中国に、20万とも言われる人々が人権問題のために中国に逃げ出しています。

それらすべての人権侵害の原因は金正日独裁体制にあります。それにもかかわらず、米国の決定は圧政を長引かせるものであります。今回の決定は現状からの解放を渴望している北朝鮮人民にとって、貴国に対する希望を失望へと変えるものと言わざるをえません。

2、日米同盟へのダメージ

今回のテロ支援国家指定解除決定は、核問題の進展のためのものであるはずですが。しかし、このやり方で北朝鮮は唯一最大のカードである核を廃棄するでしょうか。私たちには14年前、1994年の北朝鮮核危機におけるジュネーブ合意の失敗を繰り返しているだけにしか見えません。

我が国は唯一の被爆国であり、広島、長崎の惨害には被爆から63年が経過した今日でも苦しみを続けている人がいます。その私たちの目からみたとき、今回の合意は核抑止力を貴国に依存している日本にとって核の危機をより高めるものと思えません。

もちろん、拉致問題の解決のためにテロ支援国家指定が大きな圧力になってきたことは事実であり、その意味も含めこれまで両国の信頼の上に築かれてきた同盟関係が今回の決定で毀損されることを私たちは深く憂慮します。

3、拉致被害者・家族の失望

ブッシュ大統領は2006年4月、13歳のとき北朝鮮工作員によって拉致された被害者横田めぐみさんの母、早紀江さんに会って下さいました。それが家族のみならず、日本人すべてにとってどれだけ力強い励ましになったか分かりません。面会の後大統領は「ホワイトハウスに来て以来、最も心を動かされた面会の一つだ。信じがたいのは国家が拉致を承認したことだ。国家の指導者が小さな子供の拉致を奨励したこととは想像することさ

え困難だ」と言っています。

クリスチャンであるめぐみさんの母、横田早紀江さんは同じクリスチャンである大統領の言葉を今も信じています。私たちは心の底から大統領がお母さんに 語ったことをやり遂げていただくことを期待しています。

もちろん、私たちは米国政府に「拉致問題を解決して下さい」とお願いするつもりはありません。これは私たちの問題であり日本国政府と国民が解決すべきことです。また、米国の政策の優先順位は米国民が決めることであり、米国の国益から考えれば拉致問題より核問題が優先することは理解できます。

しかし、今回の決定は優先順位が高かったはずの核問題の解決にも逆行し、米国がこれまで推進してきたはずの自由と民主主義という価値観にも背反するものであります。

私たちは皆様が私たちと共に行動して下さい、拉致被害者と、今北朝鮮で苦しんでいる2000万の人々が一刻も早く自由を享受できるように、今回の決定を 再考して下さいることを切に期待する次第です。

敬具

特定失踪者問題調査会代表 荒木和博（拓殖大学海外事情研究所教授）

賛同者

青木英實（救う会福岡）

松尾秀雄（救う会いばらき）

川添友幸（救う会神奈川）

河村裕子（東京ブルーリボンの会）

清水仁（山本美保さんの家族を支援する会）

北村芳正（長崎拉致被害者救出ネットワーク）

森田和博（救う会高知）

近藤誠（桜応援団）

武藤政春（埼玉しおかぜの会）

森田優（救う会三重）

颯佐正俊（予備役ブルーリボンの会）

中村実（救う会千葉）

松田紗織（拉致問題全般研究会）

田久保忠衛（民社人権会議）

安藤哲夫（救う会宮城）

大野トシエ（群馬ボランティアの会）

松村讓裕（救う会秋田＜秋田地区＞）

伊藤田雄三（救う会大分）

※賛同者は名前のアルファベット順ですが、英文を見ていただいております。救う会神奈川の川添代表の名前を間違えて Hideyuki にしてしまい、その順番で並べてあります。この場を借りてお詫び申し上げます。

（以下原文）

July 4, 2008

Dear United States Congresspersons,

Our organization, The Investigation Commission on Missing Japanese Probably Related to North Korea(COMJAN),based in Japan, completely independent, aims at rescuing Japanese people abducted by North Korea and improving North Korean human right violations such as political concentration camps and cruel treatments of North Korean defectors.

Japan was considerably shocked to know that the President George W. Bush notified the Congress of his decision to remove North Korea from the list of terrorism sponsoring states, which we believe contains the following three critical problems. We respect you because the United States shares the values of freedom and democracy with Japan and you are the driving force to realize it. That is why we solicit your reconsideration of this matter.

1. Decision against Freedom and Democracy

Needless to say, North Korea is one of the worst countries in terms of human rights violations. There is no freedom of speech; one percent of the population is detained in concentration camps as political prisoners. At least over ten percents of the population have died of starvation due to the misguided policy of the regime and sickness also caused by that for the last decade. North Korea is the only country where people starve to death without any civil war in the 21st century. As many as 200,000 people are said to have escaped to China causing serious human right issues.

All of the human right violations attributes to the Kim Jong-ill dictatorship.

Nevertheless, the United States decision may help the tyranny prolong its life. We would have to say that it has turned most of North Koreans expectation for your country to disappointment although they really crave for emancipation from the current status.

2. Damage to the Japan-United States Alliance

The United States intends only to make progress on the nuclear issues by deciding to remove North Korea from terrorist list. However, will the regime abandon the nuclear actually, which is its only and most powerful diplomatic card? We are concerned that the United States administration might repeat the same mistake just as the Geneva Framework Agreement did during the nuclear crisis in 1994.

Japan is the sole country that has ever experienced the tragedy of the atomic bombings. Still now, 63 years after that, Hiroshima and Nagasaki victims are suffering from the aftereffects. In Japanese eyes, the United States decision this time would be nothing but aggravating of nuclear risk to Japan, whose nuclear deterrence totally depends on the United States.

It is obvious that the listing of North Korea as a terrorism sponsoring state has been enormous diplomatic pressure on that country in solving the abduction issues. All the more, we are afraid that this decision would damage the alliance that has been built on firm trust between Japan and the United States.

3. Disappointment of Abductees and Their Families

In April 2006, President George W. Bush had the kindness to meet Mrs. Sakie Yokota, the mother of a Japanese abductee Megumi Yokota, a girl who was kidnapped by North Korean agents at the age of 13. You could imagine how much this event heartened not only the families of abductees but also all the Japanese people. After the meeting, the president stated, "I have just had one of the most moving meetings since I came in the White House. It is hard to believe that a state would approve abduction. It's difficult for us to imagine that a leader of any country would encourage the abduction of a young child. "

Sakie Yokota, a christian mother of Megumi still trusts the remark made by the christian president. We hope from the bottom of our heart that the president could carry out what he said to the mother.

Of course, we do not mean that we are asking the United States government for solving the abduction issues because we know that the Japanese government and people should settle them by ourselves. Furthermore, we understand that the priority of United States policies is decided by United States people and the priority of your policies would be the nuclear over the abduction issues.

However, the decision this time would run counter to the way for the settlement of the nuclear issues, and goes against the principles of freedom and democracy, which the United States has been promoting.

We sincerely wish that you would kindly join our campaign and reconsider the decision so that both abductees and 20 million North Korean people in distress would be able to enjoy freedom sooner.?

Sincerely yours,

Kazuhiro ARAKI

Chairman

COMJAN

Professor, Institute of Foreign Affairs, Takushoku University, Japan

Advocates:

- Hidemi AOKI, Fukuoka Association for The Rescue of Japanese Kidnapped by North Korea
- Hideo MATSUO, Ibaraki Association for The Rescue of Japanese Kidnapped by North Korea
- Hideyuki KAWAZOE, Kanagawa Association for The Rescue of Japanese Kidnapped by North Korea
- Hiroko KAWAMURA, Tokyo Blue Ribbon Association
- Hitoshi SHIMIZU, The group for Yamamoto Miho
- Housei KITAMURA, Nagasaki Network for The Rescue of Abductees.
- Kazuhiro MORITA, Kochi Association for The Rescue of Japanese Kidnapped by North Korea
- Makoto KONDO, SAKURA SUPPORTERS
- Masaharu MUTO, Saitama Shiokaze Association
- Masaru MORITA, Mie Association for The Rescue of Japanese Kidnapped by North Korea
- Masatoshi SASSA, Reserve Blue Ribbon Association

- Minoru NAKAMURA, Chiba Association for The Rescue of Japanese Kidnapped by North Korea
- Saori MATSUDA, Study circle of all cases of abduction
- Tadae TAKUBO, Congress of Democratic Socialists for Human Rights
- Tetsuo ANDO, Miyagi Association for The Rescue of Japanese Kidnapped by North Korea
- Toshie OHNO, Gunma Prefectures volunteers organization supporting for The family of Yokota Megumi San ,abducted by North Korea, and for all The same condition,s Familys
- Yoshiyasu MATSUMURA, Akita?Branch,Akita Pref. Association for The Rescue of Japanese Kidnapped by North Korea
- Yuzo ITOHDA, Oita Association for The Rescue of Japanese Kidnapped by North Korea

Investigation Commission on Missing Japanese Probably Related to North Korea
(COMJAN)

2-3-8-401 Koraku, Bunkyo Ward, Tokyo 112-0004, Japan
TEL: 81-3-5684-5058 FAX: 81-3-5684-5059
Website: <http://www.chosa-kai.jp/indexeng.htm>
E-mail: chosakai@circus.ocn.ne.jp

■調査会主催集会「国交正常化より北朝鮮と日本の正常化を！」

※インターネットでの生中継を行います（NetLive のホームページから）

調査会ではこの間の実務者協議・テロ支援国家指定解除などの問題を受けて集会を開催します。ふるってご参加下さい。

日程：7月11日（金）18:30～20:30

会場：UIゼンセン同盟会議室UIゼンセン会館2階会議室
（東京都千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549）

※JR総武線、地下鉄有楽町線・南北線・都営新宿線市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向
い

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

登壇予定者（敬称略）：

青木直人（ジャーナリスト・基調講演「なぜそんなに国交正常化がしたいのか―国民の知らない利権構造の実態―」）

加藤博（北朝鮮難民救援基金事務局長）

増元照明（家族会事務局長）

三浦小太郎（北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会代表）

他

コーディネーター：荒木和博（調査会代表）

参加費：500円（戦略情報研究所主催講演会ではありませんので、戦略情報研究所の会員の方も会費が必要です）

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★7月6日（日）13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター（みなとみらい線日本大通り駅前）

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ：090（9816）2187又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日（土）13:30～ 特定失踪者問題啓発集会（救う会徳島主催）

●阿南市・文化会館

●常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ：陶久会長（0884-26-0090）

★8月17日（日）13:30～公開大討論会（拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催）

●水戸市・水戸市民会館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：029-224-7521（前にお知らせしたもので番号が違っていました。お詫びして訂正します）

★9月21日（日）「仙台集会」（救う会宮城主催）

●仙台市

●代表荒木が参加

参加組織の中で18組織が署名しています（しおかぜネットワークは組織としての決定をするようになっていませんので、今後同様なことについてもそのときに賛同した団体の有志連合的意思表示になります）。

なお、今回の文書作成にあたっては6月27日付ニュース654号の〈具体策〉にある「志ある国家・地方公務員」及びしおかぜネットワークの参加組織である民社人権会議の代表幹事、国家基本問題研究所（櫻井よしこ理事長）副理事長である田久保忠衛・杏林大客員教授のご協力をいただきました。

■調査会主催集会「国交正常化より北朝鮮と日本の正常化を！」

※インターネットでの生中継を行います（NetLiveのホームページから）

調査会ではこの間の実務者協議・テロ支援国家指定解除などの問題を受けて集会を開催します。ふるってご参加下さい。

日程：7月11日（金）18:30～20:30

会場：UIゼンセン同盟会議室UIゼンセン会館2階会議室
（東京都千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549）

※JR総武線、地下鉄有楽町線・南北線・都営新宿線市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向
い

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

登壇予定者（敬称略）：

青木直人（ジャーナリスト・基調講演「なぜそんなに国交正常化がしたいのか—国民の知らない利権構造の実態—」）

加藤博（北朝鮮難民救援基金事務局長）

増元照明（家族会事務局長）

三浦小太郎（北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会代表）

他

コーディネーター：荒木和博（調査会代表）

参加費：500円（戦略情報研究所主催講演会ではありませんので、戦略情報研究所の会員の方も会費が必要です）

■調査会役員の参加する講演会等の予定

